

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
第5回チーム医療合同演習

対象：中四がんプロ大学院生[メディカルスタッフ全員]

■1日目 平成25年8月23日（金） 山口グランドホテル3階 末広  
山口県山口市小郡黄金町1-1 083-972-7777

「大学病院から在宅緩和ケアへ」

17：30～18：00 <受付>

18：00～19：00 <講演会>

開会挨拶：山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学分野 教授 岡 正朗先生

座長：山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 吉野 茂文先生

講演①「がん診療における在宅緩和ケア～送る側の現状と課題～」

山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 松元 満智子 先生（20分）

講演②「がん診療における在宅緩和ケア～受ける側の現状と課題～」

やまもとクリニック 院長 山本 光太郎 先生（40分）

19：00～19：30

ワークショップ参加者紹介、ファシリテーター紹介、翌日のテーマ紹介

■2日目 平成25年8月24日（土）

「がん診療における在宅診療～多職種チームでの取り組み～」

8：00～8：30 <受付>

8：30～8：45 <開会>

代表挨拶：中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム代表

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

血液・腫瘍・呼吸器内科学講座 教授 谷本 光音 先生

合同写真撮影

8：45～12：15

ワークショップⅠ「症例検討」（100分）

ワークショップⅡ「在宅診療 現状と展望～take home message～」（90分）

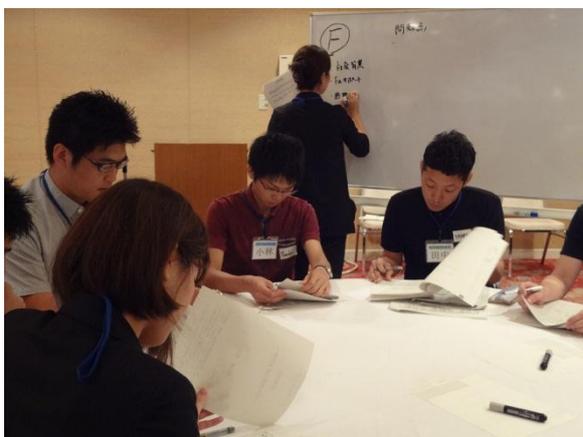
12：15～12：25 <閉会> 出席証明書授与、閉会の挨拶

## 看護学研究科：第5回チーム医療合同演習に参加してきました 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

第5回チーム医療合同演習が平成25年8月23日(金)・24日(土)に山口県山口グランドホテルで開催されました。第5回のテーマは「がん診療における在宅診療～多職種チームでの取り組み～」でした。

チーム医療合同演習は、中国・四国の10大学のがんプロ学生が一堂に会して開催されます。今年は、在宅移行期に焦点を当て、より良いがん医療やケアを提供するために、各職種の役割や職種間における協働の視点を持ちながらチーム医療の重要性を学びました。また、10大学のがんプロ大学院生・教員が交流会を通し、お互いの顔が見える関係性づくりもできました。

今回参加されたがんプロ大学院生・教員は、医師24名、看護師17名、医学物理士5名の合計46名で、今年はミャンマーから医師2名・看護師1名の参加もありました。高知県立大学大学院からは、1回生の岩田尚子さん・田中圭さん、2回生の佐藤亜美さん・高橋志保さん・廣瀬未央さん・田尻信子さんが参加し、各グループで、看護師としての積極的な意見を述べたり、他職種との討議を深め、チーム医療を担う一員としての自覚を深めました。



【合同演習の様子】